

事務事業名 道の駅たたらば壱番地管理事業		所属部 吉田総合センター	所属課 事業管理課	
総合計画体系	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G 産業振興グループ	課長名 河角郁夫	
	施策名 (38)観光の振興	担当者名 松村直樹	電話番号 0854-74-0213 (内線) 4413	
	目的:対象 市外の人・市民 意図 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 観光施設管理事業	項目 中事業 中事業名 0 5 2 0 2 2 道の駅たたらば壱番地管理事業	
	基本事業名 (117)受け入れ施設の充実			
目的:対象 観光客 意図 受け入れ施設を整える。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・指定管理業務、駐車場及び仮設トイレ対策等の実施 ・身障者用駐車場屋根設置工事施工 ・合併処理浄化槽の汚泥引抜等維持対策 ・除雪機等備品の配備、落雪対策の実施

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・指定管理者対応 ①指定管理料支出他事務②施設管理状況把握 ③指定管理基本協定・年度協定締結 ・繁忙期、積雪期対応 ①仮設トイレ・駐車場区画臨時増設・車両誘導・落雪、除雪対策②合併処理浄化槽状況把握・保全対策 ・施工工事・修繕 ①身障者用駐車場屋根設置工事②施設内側溝グレーチング設置③侵入防止柵設置⑤施設内窓ガラスフィルム取付	27年度計画(27年度に計画する主な活動) ・指定管理者対応、指定管理更新 ・施設状況把握・対応補助 ①繁忙期、積雪期対応 (仮設トイレ・臨時駐車場対策・落雪、除雪対策等) ②浄化槽維持、状況把握・保全対応 ・施設内の観光案内機能対策 (観光案内コーナ改善等)				
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 施設管理対応補助	回	12	98	60	80
	イ 指定管理者協議	回	5	12	10	15
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	施設利用者 定管理者及び参画事業者		ア 国内人口	千人	127,515	127,298	127,083	126,597
			イ 指定管理者及び参画事業者	団体数	4	4	4	4
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)		
利用者数(レジ通過者数)の増加 市内への観光入込客数の増加 指定管理者及び参画事業者による施設の 有効な管理運営と活用	ア 利用者数(レジ通過者)	人	7,938	516,291	417,085	458,000		
	イ 市内観光入込客数	万人	96.6	143.8	137.7	130.0		
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
・需用費 1,676千円 ・役務費 264千円 ・委託料 9,246千円 ・使用料及び賃借料 944千円 ・工事請負費 15,414千円 (内訳:身障者用駐車場屋根工事 14,712千円 施設内側溝グレーチング設置工事 702千円) ・負担金 9千円 計 27,553千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円			14,500	
	その他	千円	34			
	一般財源	千円	1,472	17,533	13,053	10,741
	事業費計(A)	千円	1,506	17,533	27,553	10,741
	正規職員従事人数	人	1	3	3	
	延べ業務時間	時間	300	500	600	
	人件費計(B)	千円	1,175	1,947	2,333	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,681	19,480	29,886	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
開設年度であった昨年度よりも施設利用者数(レジ通過者数)は減少している。一方、H27年3月の尾道松江線全線開通後、山陽、四国方面からのアクセスも向上したことから、陰陽を結ぶ高速道の道の駅として利用者の増加は見込める状況にある。	連休中等繁忙期期における入込客の増加に適應できる駐車場確保や仮設トイレ設置等を図ってきた。また、積雪時の雪ずり対策や除雪も実施し、浄化槽機能も継続的な改善対策を行った。同道の駅から市内、町内へ誘導対策を講じるため町内観光施設の指定管理者との連携強化の協議も実施している。	・施設を拠点として高速道路利用者の市内への入込みを一層図る必要があるとの認識 ・高速道路沿いの道の駅として、市内の観光情報や地域情報の発信への期待 ・観光情報の提供や、地域情報の発信は、指定管理者と各観光関連施設、市、関係団体等との連携が重要 ・施設用観光誘導サイン設置に係る要望

事務事業名	道の駅たたらばき番地管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課	事業管理課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設における産直市や観光事業を通じて更に地域経済への波及効果が期待できる。また、市内への誘客を促す拠点としての役割が求められていることから、情報提供のみならず、市内への観光案内なども含めた対応も観光協会等との連携により可能となる。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
C 効率性	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	中国横断自動車道尾道松江線・雲南吉田IC沿いの道の駅であり、高速道路利用者を通じて市内の観光振興に寄与しているとともに、産直市や地元産物の販売により農業振興へも寄与している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	(具体的な手段(類似事業名))	観光情報や地域情報の発信に係るイベントや周遊コース、PR媒体等での共有連携	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	理由	市内の道の駅や観光関連施設の機能を有効に活用し、指定管理者、関係者、関係団体等が連携を強化することで、観光情報等の発信が充実、拡大し、市内への入込客の増加につながる観光振興が図られるため。	
<input type="checkbox"/> 他に手段がない				
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	高速道路沿いの道の駅として施設利用者数の規模が大きく、施設維持管理に係る経費や、駐車場対策経費、連休、繁忙期間の対策経費を含め事業費の削減は困難である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	当面、年間を通じて施設維持管理に係る対策が必要であり、尾道松江線が全線開通をして間もない現時点においては、今後の利用者数の推移を見極める必要もあり、指定管理者等による市内への観光誘導対策への支援を含めて、人件費の削減は困難な状況である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	高速道路利用者を中心に不特定多数の利用が可能な施設であるため公平・公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	当施設が、今後も多くの施設利用者が見込める状況にある中で、指定管理者が参画事業者や市、関係団体、組織と連携をしながら、施設機能を有効に活用し、積極的な観光、地域情報の発信と、市内の産業振興に資する事業展開がさらに必要である。	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>・現況と今後の施設利用者(見込み)に適切に対応できる施設管理・運営を継続して実施する。また、連休や繁忙期における駐車場、トイレ等の対策については、現状を把握しながら、利用者へのサービス向上に向けた改善を検討し、対策を講じていく。</p> <p>・利用者に対する市内の観光情報の発信や各種地域情報の提供は、対面的な接客と案内が望ましいため、指定管理者(駅長他)と市、関係団体等が連携をして、パンフレット等の媒体を有効に活用しながら取り組みを進める。</p> <p>・同道の駅を拠点として、市内の観光関連施設との連携や関係組織とのネットワーク構築等を図り、共通の指針や企画に基づく、地元商品・産品、農林産物の販売拡大も検討しながら、地域全域への経済効果の波及を目指していく。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		